

事業番号	304
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	管渠等維持管理事業						担当部	上下水道部		
	会計区分	下水道事業特別会計			事業類型	法定受託系	担当課	下水道課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	維持係		
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤		25 下水道		2 老朽管などの更新を推進します				
		副目的									
	予算区分	款	1	項	1	目	2	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	下水道法									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	管路調査により判明した不良箇所の補修を行なうことにより、地下水の浸入を減らし汚水処理費用の軽減を図る。また、管路の破損による管路閉塞や道路陥没を防ぎ、市民が安心して下水道利用ができるようにする。									
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 調査用のテレビカメラで下水道管の中から損傷箇所を調査し、損傷箇所は道路を掘りかえずことなくマンホールから補修する機械や材料を入れて管の内面補修を行った。また、老朽化したマンホール蓋の取替を実施した。 事務従事職員は、管路調査委託の設計・監督及び管路補修工事の設計・監督業務を行っている。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 下水道管路調査委託料(19,278千円) 下水道管路清掃委託料(6,377千円) 下水道管路補修等工事費(65,821千円) 修繕料(2,175千円) 人夫賃、手数料、資材購入費など(4,681千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 下水道管路調査委託料(20,300千円) 下水道管路清掃委託料(8,200千円) 下水道管路補修等工事費(75,000千円) 修繕料(2,340千円) 人夫賃、手数料、資材購入費など(6,658千円)</p> <p>【その他財源の内容】 下水道使用料</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	98,965	91,482	98,332	112,498	
		正職員	従事者数	人	2.00	2.00	2.00	2.00
			人件費	千円	10,520	10,520	10,520	10,520
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	109,485	102,002	108,852	123,018		
対前年比	%			93.1	106.7	113.0		
財源	一般財源	千円	0	0	0	0		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	109,485	102,002	108,852	123,018		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	管	管路調査	m	目標	14,200	14,400	14,060
実績				12,117	15,518	14,504	
路	管路補修	箇所	目標	700	700	700	600
			実績	418	546	513	
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			不明水率	%	目標	—	—
			実績	11	13	12	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	計画的に管路調査・管路補修を実施し、管路施設の良好な維持管理を行うことができた。	
		事業実施における課題	年々下水道整備区域は拡大し、下水道施設の維持管理は増大している。そのため、維持管理のコストを縮減できる管路調査・補修方法を検討するとともに、まもなく耐用年数を迎える施設の長寿命化計画を検討する必要がある。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	下水道施設は、道路陥没や管路閉塞などを予防保全するため定期的な調査・補修が不可欠な施設である。また、ほとんどが地中の施設であり通常目視による確認ができない。事故が起きれば市民生活に重大な支障をきたす。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	維持管理のコストを縮減できる管路調査・補修方法を検討し、まもなく耐用年数を迎える施設の長寿命化計画を検討する。	
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
	判定理由	施設の増大と老朽化が進んでいるため管渠等の維持管理は必要不可欠である。		
	27年度以降の改善案	増大する維持管理のコストの平準化について検討していく。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 構造物の長寿命化を考慮した維持補修に努めること。